

Kodak Gray Scale

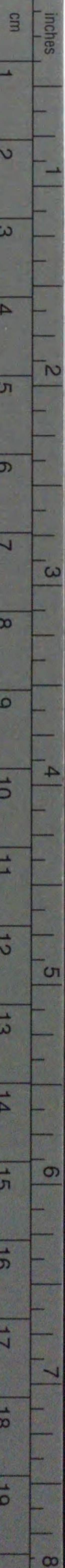
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak



Y994-J4324

昭和六年九月十日

Y994-J4324



1200800084915

發行所 駁寄贈

和六年九月

(昭和六年通報第二十二號)

(印刷ヲ以テ筆寫ニ代フ)

叢 A



叢 A 15 6 22

15 622

中華民國租稅大綱

商工省貿易局

Y994

J4324

中華民國租稅大綱

目次

甲國稅	一頁
一、關稅	一
イ、進口稅(輸入稅)	一
ロ、出口稅(輸出稅)	一
ハ、轉口稅(移出稅)	二
二、鹽稅	二
三、捲煙統稅	四
四、麥粉特稅	四
五、化粧品印花特稅	五
六、箔類特稅	六
七、綿絲、マツチ、セメント統稅	六
八、煙酒公賣費	八



I 種

W



1200800084915

九、煙草類營業牌照稅	一九
一〇、酒類營業牌照稅	一一
一一、機械製酒類營業牌照稅	一二
一二、洋酒稅	一三
一三、註冊費(登錄稅)	一四
一四、印花稅(印紙稅)	一四
一五、船鈔(噸稅)	一五
一六、取引所稅	一五
一七、鑛稅	一六
一、鑛區稅	一六
二、鑛產稅	一七
一八、中央政府租稅收入額(民國十八年度)	一七
乙 地方稅	一八
一、田賦(地租)	一八
二、契稅	二一
三、營業稅	二二
四、牙稅	二四

五、當舖稅	二六
六、屠宰稅	二八
七、牲畜稅	二九
八、房捐	三〇

中華民國租稅大綱

甲 國 稅

一、關 稅

(イ) 進 口 稅 (輸入稅)

進口稅ノ稅率ハ從前ハ諸外國トノ協定稅率ニシテ、凡百ノ貨物ニ對シ一律ニ從價五分ヲ基礎トセル從量稅又ハ從價五分稅ナリシガ、關稅自主權恢復後民國十九年(昭和五年)十二月七日國定稅率ヲ公布シ、同二十年一月一日ヨリ之ヲ實施セリ。而シテ舊稅率ハ關平銀(海關兩)ヲ以テ規定セルカ、新稅率ハ海關金單位ヲ以テ規定セリ。
(一海關金單位ハ邦貨八十錢二厘五毛ニ相當ス)

新稅率ハ最低五分ヨリ最高五割ニ至ル(五分、七分五厘、一割二分五厘、一割五分、二割、二割五分、三割、三割五分、四割、四割五分、五割)十二級ニ分レ、總數六四七項目トナリ居レリ。

(ロ) 出 口 稅 (輸出稅)

出口稅ノ稅率モ從前ハ一八五八年英、米、佛等ト協定セルモノニシテ、此レ亦凡百ノ貨物ニ對シ一律ニ從價五分ヲ基礎トセル從量稅、又ハ從價五分稅ナリシカ、國民政府ハ民國二十年(昭和六年)五月八日之カ改定稅率ヲ公布シ六月一日ヨリ之ヲ實施セリ。

新稅率ハ從量稅品、從價稅品共ニ從價七分五厘ヲ標準トシ只品目ノ種類ニ依リ内國工業保護又ハ國產輸出獎勵ノ意味ヲ以テ五分乃至三分見當ニ定メタリ。全品目ヲ六類三十一種ニ分類シ、其ノ稅番數ハ二百七十二及ベリ。尙從來ノ輸出附加稅ハ新輸出稅實施ト同時ニ之ヲ廢止セリ。

(ハ) 轉口稅 (移出稅)

新輸出稅率ハ外國ニ輸出スル土貨ノミニ適用セラレ、汽船ニヨリ中國開港間ニ輸送セラルルモノニ對シテハ舊稅率(從價五分ヲ基礎トシタルモノ)ヲ適用シ、之ヲ轉口稅ト稱ス。但シ民船ニ積載シテ通商港間ヲ往來スル土貨ハ總テ免稅トス。

二、鹽稅

製鹽特許條例 (民國三年三月五日公布、七年四月五日改正)

鹽稅條例 (民國二年十二月二十五日公布、七年三月二日改正)

運鹽執照領用章程 (民國十九年九月二十三日公布)

國內食鹽運輸章程 (民國十九年九月二十四日公布)

鹽法 (民國二十年五月三十日公布)

鹽ハ製鹽者ヨリ官ニテ之ヲ買上ケ官自ラ之ヲ輸送販賣シ(官專賣)又ハ官ニテ之ヲ買上ケ一定ノ消費地(銷岸ト稱ス)ニ輸送シ商人ヲシテ之ヲ販賣セシメ(官運民銷)若クハ特許商ヲシテ之ヲ買入レテ其ノ販賣區域ニ輸送販賣セシメ(商專賣)或ハ又其自由賣買ヲ許ス地方アリ(自由販運)。然モ官運ハ弊害多キ爲メ漸次之ヲ廢止シ今

ハ多ク商運(商專賣)ト民運(自由販運)ノ二種トナレリ。

而シテ官專賣、商專賣、官運民銷、自由販運共ニ各其區域一定シ且ツ特許商ガ生産者ヨリ買入ル、數量モ其特許證タル引又ハ票ノ數ニ依リテ之ヲ限定セリ。

鹽專賣ノ特許商ヲ運商又ハ引商ト云ヒ、其ノ販賣區域ヲ引岸ト稱ス。而シテ運商相互間ノ販賣區域モ亦一定シ、互ニ相侵スヲ得サルコトトナリ居レリ。

鹽稅ハ民國二年ニ每百斤二元五角ト定メシカ同七年ニ之ヲ三元ニ改メタリ。(但工業鹽ハ無稅)鹽稅ハ生産地ニ於テ之ヲ徵收スルモノニシテ即チ製鹽者ノ製造セル鹽ハ官設ノ倉庫又ハ官ヨリ指定セル場所ニ貯藏セシメ、官署ノ監督ノ下ニ之ヲ商人ニ賣リ渡スモノナルカ、其賣渡ノ際ニ之ヲ徵收スルモノトス。

鹽稅ノ稅率ハ從來各地區々ニシテ全國ヲ通シ二千種ニ及ヒシカ、民國二年以來漸次法定稅率ヲ適用スルニ至リ、今ハ二十餘種ニ過キスト云フ。而モ各省ニテ徵收スル附加稅頗ル多ク正稅ノ二倍ニ達スル地方アリ、中央政府ニ於テハ附加稅ノ徵收ヲ禁シ居ルモ實際ハ行ハレス。

國民政府ハ夙ニ鹽制改革ノ計畫アリ、新鹽法ハ既ニ昭和六年五月三十日之ヲ公布セルモ未タ實施ヲ見ニ至ラス。該法ニ依レハ從來ノ引岸制ヲ廢シ、總テ之カ自由賣買ヲ許シ、稅金ハ食鹽ハ每百キログラムニ付五元、漁業鹽ハ同三角トシ、工業鹽及農業鹽ハ免稅スルコトトナリ居レリ。其他ノ重要ナル規定左ノ如シ。

鹽ハ政府ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ採製スルヲ得サルコト

政府ハ各製鹽地ニ倉坵ヲ設ケ鹽ノ貯藏用ニ供スルコト

私人建設ノ倉坵ハ政府ニ於テ之ヲ管理シ又ハ之ヲ買收シテ國有トナスコト

製鹽業者ノ製造セル鹽ハ總テ政府指定ノ倉坵ニ貯藏セシメ製鹽者各自ノ貯藏ヲ許ササルコト
 鹽稅ハ製鹽地ノ倉坵ヨリ之ヲ買入ル、際ニ其買受入ヨリ之ヲ徵收スルコト
 外國ヨリ輸入スル醬油、醬油精及其他ノ調味品ハ其含有スル鹽分ニ依リ食鹽ノ稅率ニ照シテ徵收シ且傾銷稅
 (ダンピング稅)ヲ加徵スルヲ得ルコト。

三、捲煙統稅

捲煙稅徵收條例(民國十八年二月二十二日修正公布)

第一條 卷煙草(紙卷煙草及葉卷煙草)其他煙葉ヲ以テ製成セル一切ノ物品ハ國內ニテ製造セル刻煙草ヲ除クノ外
 本條例ノ規定ニ照シ捲煙統稅ヲ完納スヘシ
 第三條 外國ヨリ輸入セル卷煙草其他煙葉ヲ以テ製成セル一切ノ物品ハ海關輸入稅從價百分ノ七・五ヲ納付シ海
 關ノ評價ニ照シ別ニ捲煙統稅從價百分ノ三二・五ヲ納付スヘシ
 民國領域內ニ工場ヲ設ケテ製造セルモノハ主管機關ニ於テ海關ノ評價ヲ標準トシテ捲煙統稅從價百分ノ三一・
 五ヲ徵收ス

四、麥粉特稅

麥粉特稅條例(民國十七年六月十四日公布)

第一條 國內生產ノ機械製麥粉及外國ヨリ輸入セル麥粉ニシテ營業ノ性質ヲ有スルモノハ本條例ノ規定ニ依リ麥

粉特稅ヲ徵收ス

第二條 機械製ニ非サル麥粉ハ特稅ヲ徵收セス

第四條 內國產機械製麥粉ハ一袋ニ付特稅大洋一角ヲ徵收ス

內國產機械製麥粉ノ外國ニ輸出スルモノハ其輸出ノ時ニ於テ一袋ニ付特稅大洋五分ヲ拂戻スヘシ
 舶來機械製麥粉ハ一袋ニ付特稅一角ヲ徵收ス

五 化粧品印花特稅

(印紙ヲ貼用セシメテ之ヲ徵收スルヲ以テ印花特稅ト稱ス)

財政部化粧品印花特稅暫行章程(民國十六年十一月十四日公布)

第一條 內國及外國製造ノ化粧品ハ其製造者又ハ販賣商人ニ於テ本章程ノ規定ニ依リ特種印花ヲ貼用スヘシ

第二條 左記ノ物品ヲ化粧品トス

一、各種香水、脂粉、化粧石鹼、鬚剃石鹼、雪花膏、煉齒磨、齒磨粉、爽身粉、撲粉、髮油、臘油、髮膠、髮
 漿

二、其他髮、口、齒、又ハ皮膚ノ修飾ニ用ユル一切ノ化粧品

第三條 化粧品印花特稅ノ稅率左ノ如シ

甲、價格三角以下ノモノハ特種印花一分ヲ貼用スルコト、其五分ニ滿タサルモノハ免稅

乙、價格五角以下ノモノハ特種印花二分ヲ貼用スルコト

丙、價格一元以下ノモノハ特種印花五分ヲ貼用スルコト

丁、價格一元以上三元ヲ越エサルモノハ價格ノ百分ノ十二相當スル特種印花ヲ貼用スルコト
 戊、價格三元以上五元ヲ越エサルモノハ價格百分ノ十五ニ相當スル特種印花ヲ貼用スルコト
 己、價格五元以上ノモノハ價格ノ百分ノ二十ニ相當スル特種印花ヲ貼用スルコト
 前項丁、戊、己三號ノ稅率ハ其價格ノ尾數カ一角ニ滿タサルモノモ總テ一角トシテ計算ス

六、箔類特稅 (江蘇、浙江二省ニ施行スルモノ)

管理江浙箔類特稅征收局徵收章程 (民國十六年十二月三十日公布)

第一條 本章程ニ箔類ト稱スルハ專ラ冥用ノ紙箔ヲ云ヒ其他ノ焚化用ノ紙紮、裝飾用ノ錫紙ヲ含マス
 第二條 箔類ノ稅率ハ從價百分ノ一二・五トス

七、綿絲、マツチ、セメント統稅

綿紗、火柴、水坭統稅徵收條例(民國二十年一月二十八日公布)

第一條 國內ニ於テ製造シ又ハ外國ヨリ輸入スル綿絲、マツチ、及セメントハ總テ本條例ノ規定ニ依リ統稅ヲ完納スヘシ

第二條 綿絲、マツチ及セメント統稅ハ之ヲ國稅トシ財政部統稅徵收機關ニ於テ之ヲ徵收ス

第三條 綿絲、マツチ、及セメント統稅ノ稅率左ノ如シ

一、綿 絲

甲、生綿絲、二十三番手ヲ越エサルモノ 百斤ニ付國幣二元七角五分

乙、生綿絲、二十三番手ヲ越エタルモノ 百斤ニ付國幣三元七角五分

丙、其他各種ノ綿絲 海關ノ評價ニ照シ從價百分ノ五

二、マツチ

甲、長サ四十三ミリメートルニ滿タサルモノ又ハ一盒ノ本數七十五本ヲ越エサルモノ 大箱一箱ニ付 國幣 五 元

乙、長サ四十三ミリメートル以上五十二ミリメートル以下ノモノ又ハ一盒ノ本數百本ヲ越エサルモノ 大箱一箱ニ付 國幣 七元五角

丙、長サ五十二ミリメートルヲ越エタルモノ又ハ一盒ノ本數百本以上ノモノ 大箱一箱ニ付 國幣 十 元

大箱一箱ハ五十小箱入、小箱一箱ハ百四十四盒入トシ合計七千二百盒トス 但出廠又ハ輸入ノマツチカ大箱一箱ニ滿タサル場合ハ前記ノ稅率ニ照シ其數量ニ比例シテ統稅ヲ徵收ス

三、セメント

一樽(重量三百八十封度)ニ付 國幣 六 角

但袋入又ハ小樽入ノモノニシテ其重量カ三百八十封度ヲ越エ又ハ之ニ滿タサルモノハ其差額カ十分ノ一以上ナルトキハ重量ノ比例ヲ按シテ統稅ヲ徵收ス

第四條 外國ヨリ輸入スル綿絲、マツチ、セメントハ海關ニ於テ輸入稅ヲ徵收スル外前條規定ノ稅率ニ照シテ統

税ヲ徴收ス

第六條 國內製造ノ綿絲及其直接織成品並ニマツチ、セメントハ之ヲ外國ニ輸出スル場合ハ統稅ヲ免除ス

八、煙酒公賣費

全國煙酒公賣暫行簡章(民國四年六月一日公布、五年三月二十四日改正)

各省煙酒公賣局暫行章程(民國四年六月一日公布)

煙酒公賣棧暫行章程(同

上)

各省ニ煙酒公賣局ヲ設ケ煙酒公賣事務ヲ管理セシム(全國煙酒公賣暫行簡章第一條)

各省煙酒公賣局ハ煙酒ノ生産販賣ノ情形ヲ酌量シ區域ヲ劃分シテ公賣分局ヲ設ク(全國煙酒公賣暫行簡章第四條)公賣分局ハ其所管區域内ニ於ケル適當ノ地ニ商人ヲシテ煙酒公賣分棧ヲ組織セシメ公賣事務ヲ經理セシム前項ノ商人ヨリハ一定ノ保證金ヲ徵シ執照(鑑札)ヲ交付ス(同上第五條)

公賣分棧ハ公賣支棧ヲ組織スルコトヲ得(煙酒公賣棧暫行章程第三條)

公賣局ハ公賣分棧ニ對シ相當ノ經費ヲ給與ス(煙酒公賣暫行簡章第八條)

商民ノ煙酒賣買ハ總テ公賣分棧ニ於テ代ツテ之ヲ經理ス(同上第六條)

各煙酒商店ハ各月ノ煙酒生産販賣數量及種類ヲ豫メ當該公賣分棧又ハ支棧ニ届出ツルコトヲ要ス(公賣棧暫行章程第十一條)

公賣分棧又ハ支棧カ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ検査シ一々検査證票ヲ貼付シ公賣費ヲ徴收ス(公賣

棧暫行章程第十二條)

公賣分局ハ毎月其所轄區域内ノ煙酒公賣價格ヲ規定シ公賣局ノ認定ヲ得タル後之ヲ各分棧ニ通告ス(煙酒公賣暫行章程第九條)

公賣局ハ煙酒ノ生産原價、利益及各種稅捐等ヲ計算シ之ニ百分ノ二十ノ公賣費ヲ加算シテ公賣價格トナシ隨時之ヲ布告ス(同上第十條)

公賣費ハ公賣分棧又ハ支棧ニ於テ之ヲ代徴ス(公賣棧暫行章程第十二條)

公賣局ハ毎月各公賣分棧ニ對シ各其ノ代徴セル公賣費ノ二十分ノ一ヲ利益トシテ交付ス支棧ノ收得スヘキ利益ハ分棧ヨリ之ヲ算給ス(同上第十七條)

検査證票ヲ貼付セサル煙酒ハ一律ニ其販賣ヲ禁止ス(同上第十四條)

自家用酒類ヲ釀造スル者ハ公賣局ノ許可ヲ得鑑札ヲ受クルコトヲ要ス但其釀造高ハ一戸ニ付一ケ年百斤ヲ限度トシ且公賣費ヲ徴收ス

公賣費ハ従前ハ各省區々ニシテ一定セス最低四%ヨリ最高三〇%ニ及ヒシカ民國十八年中一律ニ之ヲ百分ノ二十トセリ

九、煙草類營業牌照稅

煙類營業牌照稅暫行章程(民國十七年三月十三日公布)

第一條 内外產煙草類ヲ販賣スル者ハ一律ニ本章程ニ從ヒ牌照(鑑札)ヲ受ケ始メテ營業スルコトヲ得

前項ノ煙草類ニハ内國產刻煙草、機械製捲煙草(紙卷、葉卷)其他一切ノ煙葉製造品ヲ包括ス

第三條 營業牌照ハ左ノ二種ニ分ツ

第一種 小賣商人ニ對シ煙草類ノ卸賣ヲナス者ヲ整賣營業トナシ其種類左ノ如シ

一、捲煙草製造公司ノ分公司及賣捌處

二、各種土煙ノ製造販賣者

三、煙草行(煙草問屋)

四、各種煙草類ノ卸賣業者

第二種 煙草類ノ小賣ヲナス者ヲ零賣營業ト爲ス其種類左ノ如シ

一、店舖ヲ設ケテ一切ノ煙草類ヲ販賣スルモノ

二、他種ノ商店ニシテ煙草類ノ販賣ヲ兼營スルモノ

三、煙草類ノ小賣ヲナス露店商人及行商人

第四條 前條ノ牌照ヲ受クル者ハ毎年左記定額ニ依リ納稅スヘシ

整賣營業

一、捲煙草製造公司ノ分公司及賣捌處

每季一百元

二、各種土煙ノ製造販賣者及煙草行

每季四十元

三、各種煙草類ノ卸賣業者

每季二十元

零賣營業

一、店舖ヲ設ケテ一切ノ煙草類ヲ販賣スル者

每季十二元

二、他種商店ニシテ煙草類ノ小賣ヲ兼營シ且其煙草小

賣ヲ重ナル營業トスル者

每季八元

三、他種商店ニシテ煙草類ノ小賣ヲ兼營スル者

同 四元

四、露店ニテ煙草類ノ小賣ヲナス者

同 二元

五、煙草類ノ小賣ヲナス行商者

同 一元

毎年一月、四月、七月、十月ノ一日ヨリ十日ニ至ル間ヲ新舊牌照ノ引換期間トシ引換料二角ヲ徵收ス

一〇、酒類營業牌照稅 (土酒類)

販賣煙酒特許牌照稅條例(民國三年一月十二日公布)

(十七年三月公布ノ煙類營業牌照稅暫行章程第九條ニ依リ本條例中ノ煙草類ニ關スル條項ハ之ヲ廢止セリ)

酒類(土酒類)ノ販賣業ヲ整賣營業(卸賣)ト零賣營業(小賣)トノ二種ニ分チ零賣營業ヲ更ニ甲種(一定ノ店舖ヲ設

ケテ酒類ノ小賣ヲ專業トシ又ハ之ヲ重ナル營業トナスモノ)乙種(他種ノ商店ニシテ酒類ノ小賣ヲ兼營スルモ

ノ)丙種(露店ニテ酒類ノ小賣ヲナス又ハ之ヲ行商スルモノ)ニ分ツ(第一條)

前項ノ營業ヲ爲ス者ハ當該徵收官署ヨリ特許牌照ヲ領取スルコトヲ要ス(第二條)

前項ノ牌照ヲ持有スル者ニ對シテハ毎年左記定額ニ依リ牌照稅ヲ徵收ス(第三條)

整賣營業

四十元

零賣營業

甲種	十六元
乙種	八元
丙種	四元

整賣ト零賣トヲ兼營スル者ハ兩種ノ牌照ヲ受ケ各定額ニ依リ納稅スルコトヲ要ス
牌照稅ハ每年二期ニ分チテ之ヲ徵收ス

第一期 一月一日ヨリ同月末日マテ

第二期 七月一日ヨリ同月末日マテ

新營業者ハ特許牌照ヲ領取スル時ニ於テ其期ノ牌照稅ヲ完納セシム

一一、機械製酒類營業牌照稅

華洋機製酒類營業牌照稅章程(民國十六年十二月二十一日公布)

第一條 內外產機械製酒類ノ販賣業ヲ營ム者ハ一律ニ本章程ニ依リ營業牌照ヲ受クルニ非サレハ其營業ヲ開始スルコトヲ得ス

前項ノ酒類トハ專ラ內外產機械製洋酒及火酒類ヲ云フ土酒ニ關シテハ別ニ之ヲ規定スヘシ

第三條 營業牌照ハ卸賣、小賣ノ二種ニ分ツ

卸賣牌照ハ左ノ二等ニ分ツ

一等 各機械製酒廠、輸入商、酒廠分公司及個人經營等

二等 機械製酒類ノ卸賣商店及其分店又ハ代理店

一等卸賣牌照ヲ受クル者ハ每季牌照費五十元、二等卸賣牌照ヲ受クル者ハ同十元ヲ納付スルコトヲ要ス

小賣牌照ハ左ノ二等ニ分ツ

一等 酒樓、旅館、及酒吧等

二等 機械製酒類ノ小賣商店

一等小賣牌照ヲ受クル者ハ每季牌照費十元、二等小賣牌照ヲ受クル者ハ同五元ヲ納付スルコトヲ要ス

每季一月、四月、七月、十月ノ一日ヨリ十日ニ至ル間ヲ新舊照ノ引換期間トシ引換料二角ヲ徵收ス

一二、洋酒稅

洋酒類稅暫行章程(民國十八年六月公布)

第一條 國內ニ於テ洋酒類ヲ販賣スル者ハ本章程ノ規定ニ依リ納稅スヘシ

前項ノ洋酒類ニハ内外人ノ製造ニ係ルモノト輸入品トヲ問ハス總テ之ヲ含ム

第三條 洋酒類ノ稅率ハ當分從價百分ノ三十ト定ム但火酒ハ每百斤二十元ヲ徵收ス

前項ノ稅率ハ毎年一回之ヲ修正ス

第四條 洋酒類稅ハ當該地ノ販賣商人ヨリ之ヲ徵收ス

前項ノ販賣商人ハ卸賣、小賣、附賣ヲ問ハス均シク之ニ屬ス

一三、註冊費（登錄稅）

全國註冊局註冊條例（民國十六年十一月十九日公布）

第一條 國民政府ノ統治下ニ於テ商業ヲ經營スル者ハ法ニ依リテ註冊ヲ申請スルコトヲ要ス

第二條 本條例ノ註冊事務ハ國民政府註冊局之ヲ主管ス

第三條 註冊ノ種類左ノ如シ

- 一、公司註冊
- 二、商號註冊
- 三、商標註冊
- 四、鑛業註冊

全國註冊局註冊費分類表（民國十六年十二月十日公布）

（省 略）

一四、印花稅（印紙稅）

國民政府財政部印花稅暫行條例（民國十六年八月公布）

第一條 本條例ニ記載スル各種契約、帳簿、人事憑證及特殊物品ハ本條例ニ從ヒ印花（印紙）ヲ貼用シ適法ノ憑證ト爲スヘシ

第二條 前條ニ規定スル印花貼用ノ各件ハ之ヲ四類ニ分ツ其ノ種類左ノ如シ

第一類（略）

第二類（同）

第三類（同）

第四類

清涼飲料水、舶來ノモノ、一封度瓶一本ニ付

同 半封度瓶 同

同 內國產 一封度瓶一本ニ付

同 半封度瓶 同

印花二分

同 一分

印花一分

同 半分

一五、船鈔（噸稅）

外國航路又ハ沿岸航路ニ從事スル内外商船ニシテ開港場ニ入港スルモノニ課スル稅ニシテ其稅率左ノ如シ

百五十噸以上ノ商船 登簿噸數一噸ニ付

百五十噸及其以下ノ商船 同

海關兩 四錢

同 一錢

旅客手荷物、信書及無稅品運搬ノ爲使用スル小船及艇隻ハ無稅但有稅品ヲ運搬スル小船及荷船ハ總テ一噸ニ付一錢ノ割合ヲ以テ四ヶ月毎ニ一回之ヲ徵收ス

一度噸稅ヲ納メタル船舶ハ其港口出發ノ日ヨリ向フ四ヶ月間ハ何レノ開港場又ハ立寄港ニ於テモ再ヒ之ヲ徵セラ
ルルコトナシ

一六、取引所稅

交易所稅條例(民國十七年三月十九日公布)

第二條 交易所稅ハ各所每期決算ノ利益總額ニ付左ノ定率ヲ按シテ之ヲ徵收ス

- 一萬元以内ノモノ 免 稅
- 一萬元以上五萬元以内ノモノ 百分ノ七・五
- 五萬元以上十萬元以内ノモノ 百分ノ十
- 十萬元以上十五萬元以内ノモノ 百分ノ十二・五
- 十五萬元以上二十萬元以内ノモノ 百分ノ十五
- 二十萬元以上二十五萬元以内ノモノ 百分ノ十七・五
- 二十五萬元以上三十萬元以内ノモノ 百分ノ二十
- 三十萬元以上ノモノ 百分ノ二十五

前項ノ利益總額ノ計算ハ營業費ヲ控除スルコトヲ得

一七、鑛 稅

鑛稅暫行條例(民國十六年六月三十日公布)

(イ) 鑛 區 稅

(1) 探 堀

其鑛物カ鑛稅暫行條例第二條第一類ニ屬スルモノハ毎年一畝ニ付銀元五角但沙鉛、沙金、沙錫、沙鐵、ノ

河底ニ在ルモノハ長サ十丈ニ付毎年銀元五角ヲ徵收シ同第二類ニ屬スルモノハ毎年一畝ニ付銀元六角五分ヲ徵收ス

(2) 試 堀

前項ニ準シ每一畝又ハ十丈ニ付銀元一角

(ロ) 鑛 產 稅

鑛稅暫行條例第二條第一類ノ鑛物ハ生産地ノ平均市價ノ百分ノ五

同第二類ノ鑛物ハ生産地平均市價ノ百分ノ十

鑛稅暫行條例第二條第三類ノ鑛物ハ鑛區稅及鑛產稅ヲ免除ス

一八、中央政府租稅收入額

民國十八年度(自十八年七月一日起至十九年六月三十日)

- イ、關 稅 二七五、五四五、二一五・六一
- ロ、鹽 稅 一二二、一四六、一七〇・六七
- ハ、捲 煙 統 稅 三六、五六六、五〇六・四一
- ニ、煙 酒 稅 六、八三〇、九九五・四八
- ホ、印 花 稅 五、四二六、八四四・四〇
- ヘ、麥 粉 特 稅 三、九二四、二六〇・六九
- ト、各省ニテ徵收送付セル税金 一一、三八四、七八二・〇七

チ、政府持株利息	五六六、五九八・三五
リ、其他	二一、三〇九、一六一・一七
合 計	四八三、七〇〇、五三四・八五
内 徴稅費及戻稅	四五、六三七、三二六・〇二
差 引 純 計	四三八、〇六三、二〇八・八三

(財政部長ヨリ中央執行委員會政治會議ニ提出出セル十八年度財政狀況ニ據ル)

乙 地 方 稅

地方稅ハ其詳細ヲ知ルコト甚々困難ニシテ、茲ニハ各省ヲ通シテ徴收セラルル重要ナルモノノミヲ舉ク。尙此ノ外廣東省ノ如キハ賭博稅ヲ徴收シ其收入ハ最重要ナル地位ヲ占ム。又各省トモ大抵阿片稅(生産稅及販賣稅)ヲ徴收シ、中ニハ罰金ノ名義ニテ之ヲ徴收スルモノモアリ。此亦各省ノ重要ナル收入トナリ居レリ。

一、田 賦 (地 租)

田賦ハ地丁、漕糧、租課、差徭、墾務ノ五種ニ分レ居ルモ、此内差徭ハ陝西省、墾務ハ滿洲ニ於テ徴收スルノミ。地丁ハ地賦ト丁賦トヲ合セタルモノニシテ、丁賦ハ一ニ丁稅ト稱シ、十六歲以上六十歲以下ノ男子ニ課スル人頭稅ナリシカ、清ノ康熙五十五年ニ之ヲ田賦ニ併合シテ徴收スルコトトシ、先ツ之ヲ廣東省ニ實行セシメ、其後漸次各省ニ及ホシ雍正以來全ク田賦ノ一種トナリ以テ今日ニ及ヘリ。

漕糧ハ地租ノ穀納制ニシテ、元ト中央政府ノ官吏及兵員ノ食料ニ供スル爲或ル一定ノ省ヨリ米穀ヲ徴收シ之ヲ京師ニ漕運セシメタルモノナルカ、民國トナリテヨリハ穀納制ハ全ク之ヲ廢止シ、悉ク銀ニ換算シテ之ヲ徴收スルコトトナレリ。

租課ハ官有地ノ小作料又ハ借地料ニシテ租稅ニ非スト雖モ、便宜上之ヲ田賦ノ中ニ包含セシメ居レリ。租課ハ其ノ土地ノ種類ニ依リ種々ノ名稱アリ。就中官租、屯租、學租、蘆課ヲ以テ主ナルモノトス。官租ハ官有地、屯租ハ屯田、學租ハ學田、蘆課ハ江沼ノ蘆葦發生地ニ對シ徴收スル小作料又ハ借地料ヲ云フナリ。

差徭ハ古代ノ力役ノ遺制ニシテ、近世各省トモ概ネ之ヲ廢止セルカ、陝西省ノミハ今尙ホ此名義ヲ以テ銀錢ニ換算シテ徴收セリ。墾務ハ新ニ開墾セル土地ニ對シ徴收スルモノニシテ、現時ハ滿洲ニ於テ之ヲ徴收セリ。以上ハ所謂正賦ニシテ此外雜賦ト稱シ種々ノ附加稅ヲ徴收セリ。

田賦ノ稅率ハ土地ノ性質並ニ其產物ノ種類及收穫ノ多寡ニ依リ大體之ヲ三等九則ニ分チテ規定セリ。三等九則トハ土地ヲ上中下三等ニ分チ、其各等ヲ更ニ又上中下三級ニ分ツヲ云フナリ。然モ土地ノ分類法ハ各地皆同カラズ、又等級モ頗ル紛雜ニシテ不統一ヲ極メ居レリ。

國民政府ハ民國十七年(昭和三年)十月田賦正額附捐徴收辦法ヲ公布シ、田賦正稅及附加稅ノ總額ハ地價ノ百分ノ一ヲ超過スルヲ得サル旨ヲ規定セルモ、此ハ固ヨリ具文ニ止マリ之ヲ實行スルモノナシ。尙ホ國民政府ハ民國十九年六月三十日ヲ以テ新ニ土地法ヲ公布セルカ、該法ニ依レハ土地稅ヲ地價稅、土地增價稅及改良物稅ノ三種ニ分チ、其稅率ヲ左ノ如ク規定セリ、但該法ハ未タ實施セラレス。

地 價 稅

市 改 良 地

地價ノ千分ノ十乃至千分ノ二十

市未改良地	地價ノ千分ノ十五乃至千分ノ三十
市荒地	同 千分ノ三十乃至千分ノ百
鄉改良地	同 千分ノ十
鄉未改良地	同 千分ノ十二乃至千分ノ十五
鄉荒地	同 千分ノ十五乃至千分ノ百

但市地鄉地トモ所有權者ノ自住地及自耕地ハ其自住又ハ自耕期間内ハ納稅額ノ八割ヲ徵收ス

(註) 市行政區域内ノ土地ヲ市地トシ市地外ノ土地ヲ鄉地トス

土地增價稅

- イ、土地增價ノ實數額カ原地價額ノ百分ノ五十又ハ其以内ナルトキハ增價實數額ノ百分ノ二十
- ロ、土地增價ノ實數額カ原地價額ノ百分ノ五十ヲ超過スルトキハ其增價實數額ノ百分ノ四十但原地價額ノ百分ノ五十ヲ超過セサル部分ニ就テハ前號ノ規定ニ依リ百分ノ二十ヲ徵收ス
- ハ、土地增價ノ實數額カ原地價額ノ百分ノ百ヲ超過スルトキハ其增價實數額ノ百分ノ六十但原地價額ノ百分ノ百ヲ超過セサル部分ニ就テハ前二號ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス
- ニ、土地增價ノ實數額カ原地價額ノ百分ノ二百ヲ超過スルトキハ其增價實數額ノ百分ノ八十但原地價額ノ百分ノ二百ヲ超過セサル部分ニ就テハ前記各號ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス
- ホ、土地增價ノ實數額カ原地價額ノ百分ノ三百ヲ超過スルトキハ其增價實數額ノ全部但原地價額ノ百分ノ三百ヲ超過セサル部分ニ就テハ前記各號ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス

土地增價ノ總額ヨリ市地ニ於テハ其原價ノ百分ノ十五、鄉地ニ於テハ同百分ノ二十ヲ差引キタルモノヲ土地增價ノ實數額トス

改良物稅

市地改良物ハ其評定價額ニ照シテ徵收ス但其最高稅率ハ千分ノ五ヲ超ユルコトヲ得ス

鄉地ノ改良物ハ免稅

(註) 土地ノ定着物カ勞力及資本ヲ施用セル結果トシテ存在シ且土地法ノ規定ニ適合スルモノヲ改良物ト稱ス(土地法第二二八條)

二、契稅

不動産ノ賣買及質入書入ノ登録稅ニシテ、賣契稅ト典契稅ノ二種ニ分ツ。賣契稅ハ不動産ノ賣買アリタル場合ニ之ヲ買主ヨリ徵收シ、典契稅ハ不動産ニ對シ質權又ハ抵當權ヲ設定シタル場合ニ之ヲ質權者又ハ抵當權者ヨリ徵收スルモノニシテ、何レモ其不動産ノ價格ヲ基礎トスル從價稅トス。各省ノ稅率左ノ如シ。(李權時著中國稅制論ニ據ル)

河 北 省 賣 契 從價 三% 典 契 從價 一・五%

別ニ學費トシテ各三分ノ一ヲ加徵ス、即チ合計賣契四%、典契二%トナル但河北省ノ内、北平區(前ノ京兆區)ハ賣契六%、典契四%ニシテ附加稅ナシ

山東、山西、河南、福建、廣東、廣西、四川、雲南

貴州、陝西、甘肅各省	賣契	六%	典契	三%
但福建省ハ別ニ附加税トシテ各其二十分ノ一ヲ徴收ス				
湖北、吉林、黑龍江、熱河、新疆、綏遠各省	賣契	九%	典契	六%
江西、湖南、察哈爾各省	賣契	四%	典契	二%
但湖南省ハ賣契税附加税トシテ從價百分ノ一ヲ徴收ス				
浙江省	賣契	四%	典契	三%
江蘇省	同	五%	同	三%
安徽省	同	六%	同	四%
遼寧省	同	九%—六%	同	六%—三%

三、營業稅

營業稅ハ釐金廢止ニ因ル收入ノ缺陷ヲ補フ爲メ新ニ設ケラレタルモノニシテ、各省ニ於ケル該稅徴收ノ準則タル國民政府營業稅法ノ要點左ノ如シ。

第一條 營業稅ハ地方ノ收入トス各省及行政院ニ直屬スル市内ニ於テ營業スルモノハ中央ニ對シ出廠稅ヲ納付スル工場又ハ收益稅ヲ納付スル株式會社組織ノ銀行ヲ除クノ外均シク營業稅ヲ完納スヘシ

第二條 中央ニテ徴收スル煙酒牌照稅收入ハ中央ニ十分ノ一ヲ留メ其餘ハ各該省市ニ交付シ地方ノ收入ト爲スヘシ

シ

第四條 營業稅ノ稅率ハ左記三種ノ課稅標準ニ依リ各省省政府又ハ市政府ニ於テ當該地ノ營業ノ性質及狀況ニ照シテ各別ニ之ヲ酌定スヘシ

甲、營業總收入額ヲ以テ標準トスルモノハ其千分ノ二乃至千分ノ十

乙、營業資本額ヲ以テ標準トスルモノハ其千分ノ四乃至千分ノ二十

丙、營業純收益額ヲ以テ標準トスルモノハ

イ、純收益額カ資本額ノ百分ノ十五ニ滿タサルモノハ純收益額ノ百分ノ二乃至百分ノ五

ロ、純收益額カ資本額ノ百分ノ十五ニ合シ乃至百分ノ二十五ニ滿タサルモノハ純收益額ノ百分ノ五乃至百分

ノ七・五未滿

ハ、純收益額カ資本額ノ百分ノ二十五以上ニ達スルモノハ純收益額ノ百分ノ七・五乃至百分ノ十

第五條 營業稅ハ營業總收入額ヲ以テ課稅標準トナス場合ハ其營業總收入年額一千元ニ滿タサルモノハ免稅シ營業資本額ヲ以テ課稅標準トナス場合ハ其營業資本額ガ五百元ニ滿タサルモノハ免稅シ營業純收益額ヲ以テ課稅標準トナス場合ハ其營業純收益額カ百元ニ滿タサルモノハ免稅ス

第八條 營業稅ハ附加稅ヲ徴收スルコトヲ得ス

第十條 各省市原有ノ牙稅、當稅、屠宰稅及其他法ニ依リテ取締又ハ制限ヲナス目的ヲ以テ徴收スル營業稅ハ暫ク原有稅率ニ照シテ各別ニ營業稅ヲ改徴スルコトヲ得

四、牙 稅

牙稅ハ問屋及仲買人ニ課スル稅ニシテ、帖稅ト年稅トノ二種ニ分ツ。帖稅ハ登録稅ノ性質ヲ有スルモノニシテ、該稅ヲ納付シテ牙帖ヲ受ケ始メテ營業スルコトヲ得ルモノトス。從前ハ前者ヲ牙捐ト稱シ後者ヲ牙稅ト稱セシカ、今ハ合セテ牙稅ト稱シ、兩廣ヲ除クノ外各省皆之ヲ徵收セリ。
稅率ハ各省區々ニシテ一定セス、今江蘇省ノ稅率ヲ示セハ左ノ如シ。(中國稅制論ニ據ル)

(1) 長期憑證登録稅率

(甲) 繁盛地方	
一 等	七百五十元
二 等	四百五十元
三 等	三百元
四 等	百五十元
(乙) 偏僻地方	
一 等	四百元
二 等	三百元
三 等	二百元
四 等	百元

(2) 短期憑證登録稅率

(甲) 繁盛地方	
一 等	每年 二十五元
二 等	同 十七元
三 等	同 十元
四 等	同 五元
(乙) 偏僻地方	
一 等	每年 十二元
二 等	同 九元
三 等	同 六元
四 等	同 四元

(3) 長期憑證ヲ有スル者ノ營業稅率

(甲) 繁盛地方	
一 等	二十五元
二 等	十七元
三 等	十元
四 等	五元

(乙) 偏僻地方

一 等	十二元
二 等	九元
三 等	六元
四 等	四元

(4) 短期憑證ヲ有スル者ノ營業稅率

一 等	十元
二 等	七元五角
三 等	五元
四 等	二元五角

登録稅ハ憑證(牙帖)ヲ受領スル時ニ之ヲ納付スルモノトス

五、當 稅

當稅ハ質屋營業者ニ課スル稅ニシテ、此レ亦多ク帖費ト年稅トノ二種ニ分テリ。帖費ハ登録稅ノ性質ヲ有シ、年稅ハ營業稅ニ屬スルモノトス。其稅率ハ各省區々ニシテ一定セス。江蘇省ノ當典營業規則(民國十六年十一月公布、十九年五月改正)ニ據レハ、當典(質屋)ヲ開設セントスル者ハ建設廳ニ願出テ登記費(帖費)ヲ納メテ登記證ヲ受ケ、更ニ財政廳ニ執照費(年稅)ヲ納メテ營業執照ヲ受クルヲ要スルコトトナリ居レリ。其稅率左ノ如シ。

(甲) 登記 費

一 等	(資本十五萬元以上ノモノ)	五百元
二 等	(資本十萬元以上ノモノ)	三百元
三 等	(資本五萬元以上ノモノ)	二百元

登記證ノ有効期間ハ二十年トシ、期間滿了シタル時ハ更ニ登記費ヲ納メ新證ノ換給ヲ受クルコトヲ要ス。

(乙) 執 照 費

執照費ハ等級ヲ分タス一律ニ毎年七十五元ヲ徵收ス。

尙ホ廣東省ニ於テハ質屋營業者ヲ當店、按店、押店、下則小押店ノ四種ニ分チ、流質期限ヲ三ケ年トスルモノヲ當店、同二ケ年トスルモノヲ按店、同一ケ年トスルモノヲ押店、六ヶ月トスルモノヲ下則小押店トシ、税金ハ正餉ト照費トノ二種ニ分チ、正餉ハ繁盛地方ト偏僻地方トニ區別シ、左ノ稅率ニ依リ之ヲ徵收セリ。

正 餉

繁盛地方

當 店	每年	大洋	二百元
按 店	同	同	四百元
押 店	同	同	六百元

偏僻地方

當店	每年	大洋	百五十元
按店	同	同	三百元
押店	同	同	四百五十元

下則小押ハ繁盛地方、偏僻地方ニ拘ラス年額八百元、但下則小押ハ南海、番禺二縣ニ存在スルノミナルカ何レノ地方ヲ問ハス新規開業ナル許ササルコトトナリ居レリ。

下則小押ヲ除クノ外、別ニ附加税トシテ正餉ノ十分ノ二ヲ加徴ス。但新規營業者ニ對シテハ正餉ト同額ノ附加税ヲ徴收ス。

照費

當、按、押店ハ執照書換料トシテ毎年一枚ニ付一元ヲ徴收ス。但新規開業ノ際ハ新照費トシテ一枚ニ付大洋六十九元四角五分ヲ徴收ス。(廣東財政要覽ニ據ル)

六、屠宰稅 (羊豚ノ屠殺稅)

修正屠宰稅簡章(民國六年二月公布)

第一條 屠宰稅ハ豚羊二種ヲ以テ限リトス其稅率左ノ如シ但從來ノ徵收額カ左記ノ額ニ超過スルモノハ尙ホ舊稅率ニ依ル

一、豚	一頭ニ付	大洋	四角
-----	------	----	----

二、羊	同	同	三角
-----	---	---	----

前記ノ稅額ハ屠殺者ヨリ之ヲ完納セシメ牝牡大小並ニ冠婚喪祭及年節ニ屠殺スルモノヲ分タス一律ニ之ヲ徴收ス若シ地方公益捐ヲ附徵スルモノアラハ正稅ノ稅額ニ超過スルコトヲ得ス

第二條 屠殺ノ豚羊ニ對シテハ已ニ統捐又ハ通過捐等ヲ完納スルト否トヲ問ハス一律ニ屠宰稅ヲ徴收ス

第三條 豚羊ノ屠殺ハ豫メ徵收所ニ赴キ屠宰稅ヲ完納シ執照ヲ領取シタル後之ヲ許ス

七、牲畜稅

牲畜稅ハ牛、羊、豚、馬、騾、驢等ノ賣買稅ニシテ省ニ依リ之ヲ徵收セサルモノアリ、今河北省ニ於ケル牲畜稅章程(民國十八年四月十五日公布、同年七月一日ヨリ實施)ヲ示セハ左ノ如シ。

第一條 牲畜ヲ購買スル者ハ本章程ノ規定ニ從ヒ納稅スヘシ

第二條 牲畜稅ハ左記各種ヲ以テ限リトス

騾、馬、牛、驢、豚、羊、駱駝

前項ノ牲畜ハ大小牝牡ヲ分タス一律ニ徵收ス

第三條 牲畜稅ノ稅率ハ買價ノ百分ノ三トシ取引ノ場所ニ在ル徵稅所ニ於テ買主ヨリ之ヲ徵收ス

前項ノ買價カ銀兩、制錢、銅元ヲ以テ支拂ハルルモノハ、市價ニ照シテ銅元ニ換算シテ徵收ス

第四條 各種ノ牲畜ニシテ省外ニ運出シテ販賣シ又ハ之ヲ養成シテ屠殺スルモノハ夫々牲畜稅又ハ屠宰稅ヲ完納スヘシ(以下略)

第五條 第三條ニ規定スル税金ハ全部之ヲ省庫ニ送付スヘシ若シ各縣ニ於テ附加税ノ徴收ヲ必要トスルトキ
縣長ヨリ財政廳ニ申請シテ許可ヲ得タル後始メテ之ヲ徴收スルコトヲ得但其最高額ハ正税ノ半ヲ超過スルコ
トヲ得ス (以下略)

八、房 捐 (家屋税)

房捐ハ省ニ依リテ徴收セサルモノアリ、其之ヲ徴收スルモノモ都會地ニ限り、鄉村ノ家屋ニ對シテハ之ヲ徴收セ
ス。

税率ハ各地區々ニシテ一定セサルモ、廣東市ニ於テハ課税標準ヲ(甲)自住家屋(乙)賃貸家屋ノ二種ニ分チ、前者
ハ梁ノ多少ヲ以テ標準トシ一每梁(即チ每棟、家屋ノ正中ノ梁)一毛(十仙)ヲ徴收シ、後者ハ賃貸料ノ額ヲ標準トシ
賃貸料ノ二十分ノ一ニ相當スル額ヲ徴收セリ。

國民政府土地法ノ土地改良物税ニ關スル規定ハ左ノ如シ。(但未タ實施セラレス)

市地改良物ハ其評定價額ニ照シテ毎年之ヲ徴收ス其最高税率ハ千分ノ五ヲ超過セサルヲ以テ限度トス(第三一
一條)

改良物税ハ法律ニ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外所有權者ヨリ之ヲ徴收ス(第三一二條)

改良物税ハ地價税徴收ノ時ニ於テ之ヲ徴收ス(第三一三條)

改良物税ハ全部之ヲ地方税トス(第三一四條)

郷地ノ改良物ニ對シテハ徴税スルヲ得ス(第三一五條)

市地ノ農作改良物ハ地方政府ニ於テ徴税ヲ免除スルコトヲ得(第三一六條)

